

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1114号  
2009年3月8日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

司祭 ヨハネ 大和田 功  
東京教区退職司祭。2月27日逝去、99歳。3月1日、北関東教区榛名聖公会で葬送式が行われた。京都教区出身、1940年司祭按手、牧師・幼稚園園長を経て51年(年号表記を略記、以下同様)平安女学院で教鞭をとる。57年立教女学院チャプレン就任(東京教区へ転籍)、以来79年定年まで在職。その後、聖マーガレット教会囑託司祭として5年を協働。その間81年から2年半は八王子幼稚園園長を務めるなど長年、主に幼児教育を含めた教育界で奉職された。著作も多い。99年より榛名憩いの園に入居されていた。召された魂のうえに主の平安がありますように。

## 今週・来週の予定

3月8日～21日

8(日)	大斎第2主日
9(月)	教区企画室
10(火)	銀座朝拝会 下町大空襲記念礼拝(神愛)
11(水)	聖職養成委員会
12(木)	IT特別委員会 環状G牧師協議会(立教)
13(金)	城南G牧師協議会(真光) 常置委員会
14(土)	山手G静想会(ナザレ)
15(日)	大斎第3主日 外濠G教会協議会 (聖バルナバ)
	山手G教会協議会(聖愛)
	多摩G教会協議会 (聖パトリック)
	環状G教会協議会(清瀬)
16(月)	財政委員会
17(火)	礼拝音楽委員会
18(水)	教役者レクイエム 多摩G牧師協議会(~19)
19(木)	信仰生活委員会 主教座聖堂活動委員会
20(金)	第108(定期)教区会
21(土)	城南G大斎黙想会 (神学院)

◇3月の代禱・信施奉獻先  
▽東京教区神学生のため(大斎節第1主日3月1日)▽聖公会生野センターのため(3月1日)▽教区青少年活動のため▽いのちの電話の働きのため(次号で紹介記事掲載予定)▽キックドスクール(幼稚園)のため  
◇堅信受領  
3月1日 月島聖公会  
3月2日 赤堀作造(86)  
2月25日 高橋澄子(87)  
2月18日 高橋宏幸司祭母堂 聖ペテロ  
3月2日 榎原 伸(45)  
聖バルナバ

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

星野富弘さんの詩をよく思い出します。

「二番目に言いたいことしか／人には言えない／一番言いたいことが／言えないもどかしさに耐えられないから／絵をかくのかもしれない／うたをうたうのかもしれない／それが言えるような気がして／人が恋しいのかも知れない」

《恵みに生かされて》

この場を借りずに伝えたい「ありがとう」

どうも私は、恩師や友に、一番伝えたい気持ちを、面と向かってちゃんと言えませぬ。手紙なら素直に感謝や敬意を表せるのに、日常の会話では、つい冗談交じりになってしまったり、お互いに照れくさかったり(聖公会の気質なのか、日本人なのか)。直接的な言葉ではなくとも、気持ちには伝わっている

ような気はするのですが、たまには「わが師の恩」の尊さをしつかり仰ぎたいのに、もどかしいのです。でも、この「もどかしさ」は、とっても幸せな「もどかしさ」です。うまく言えないでいても、ありがとうを言いたい人がいるってことです。

父はよく、恩師や友のことを、私にくり返し、熱く物語

りました。多くの恩師や友がいるもんだなあ、と冷めて聞いていました。が、今や私が、娘たちにアノ先生、コノ先生、友のことを、あれこれ話

して、今自分があるのは、出会ってきた恩師や親友たちのおかげなんだと、ご恩を次の世代に伝えていくような気持ちです。ホントは、ご本人たちに素直に言うべきですが、この場を借りずに。

(清瀬聖母教会牧師)

▽聖公会歴史と宣教研究センター設立へ 「聖公会平和ネットワーク・関東(共同代表代行 李民洙司祭・事務局長)」の呼び掛けで話合われていた、「聖公会歴史と宣教研究センター(仮称)」の設立へ向けた動きが急ピッチで進められている。将来、日本聖公会の宣教・神学・歴史などと取り組む公的機関の立ち上げへ向けた下準備活動：が趣旨。教区を超えて設立賛同者を募集中で、3月12日(木)18時、第1回準備会を開く予定となった。詳細などの照会は同司祭宛に、TEL03(3409)2079・渋谷聖ミカエル教会。

ツェラー(ハンブルグ国立音楽大学教授)。入場料3千円(全席自由・百人限定)、収益の一部を「女性の家HELIPの働き」へ。照会・チケット申込みTEL03(3268)8067・同教会。

▽立教女学院「オルガン奉獻10周年記念演奏会」28日(土)14時、同院聖マーガレット礼拝堂(後援・立教女学院後援会)。演奏「ヴォルフガング・ツェラー。入場料2千円(全席自由)。収益は同礼拝堂補修のために。照会・チケット予約TEL03(5370)3038・同院キリスト教センター。

▽台東九条の会(会場・浅草聖ヨハネ教会) 19日(木)19時。演題「私たちは忘れない!」3月10日東京大空襲」五十嵐

チトセ(元台東区議会議員)。会場TEL03(3851)9521。

【大斎節プログラム】4

\*主日の場合は午後開催分  
でいずれも公開プログラム

▽東京諸聖徒「映画「マリア」鑑賞」22日(日)13時。入場無料。▽浅草聖ヨハネ「新聖歌集を歌う」復活節にはよるこびの歌声を…・22日13時15分。指導・小貫ツマ司祭(北海道・退職)。▽聖マーガレット「講演「みことばを、今、生きる」④22日13時「みことばに聴く…オルガンの響きを通して」(オルガン・スト今井博子) ⑤最終回29日13時「声帯を失つて」(松本讓二・横浜教区秦野聖ルカ教会信徒)。

## 【クローズアップ】7

### 教区「障関連」と「コイノニア」支援

障関連(シヨウカンレン)とは、東京教区「障がい者」関連活動連絡会のこと、正義と平和協議会」に加入している団体です。この会の目的は、東京教区内における「障がい者」に関する活動をしている団体または個人相互の連絡と協働を図り、全ての教会が「障がい」を持つ人々と共に歩むようになるための企画、協力を行うことです。また教区を超えて「障がい者」に関する活動をしている諸団体とも連帯・協働を図っています。

主な活動としては…

①お話を聴く会「毎年7月に開催し、「障がい」を持っている

人、または関わっている人からお話を聴き、共に分かち合いのときを持ちます。

②ふれあいキャンプ「10月体育の日の連休に、国立女性教育会館に宿泊し、ゆつくり語り合い、選択自由なプログラムを楽しみます。

③みんなで作るバリアフリーのクリスマスパーティー(外濠グループと共催)「参加者全員で、準備や練習をしてから始める楽しい会です。

このような「障関連」の活動にいつも参加してくれる福祉施設「メルヘン・コイノニア」が、昨年末、火事に遭いました。ここは、知的に、あるいは精神に障がいをもつ人達が、パンやクッキーの製造、包装などをす

る作業所で、その製品は、病院や学校、各教派の教会のバザーでも販売され、東京教区フェスティバルにも毎年、出店していました。自分らしく生きられる場所であり、共に集う仲間がいる場所でした。

「障関連」では、復興支援のための募金活動を始め「本紙前号第3面参照」現在計画中の設立7周年記念イベントでも、協力する予定です。

私達は、このような活動を通して、障がいを持つ人々の行動の不便さを軽減するために、手となり、足となり、眼となり、耳となり、心となることをもって、共に歩み続けています。

酒井美知子  
「障関連」実務委員